

平和憲法を持つ日本が貫くべき道

「日本復帰」40年、サンフランシスコ条約60年 オキナワは今。山城 博治 講演会

・ 日 時 2012年 5月23日(水) 18:15～

・ 会 場 自治労とやま会館 3階 大会議室
富山市 下新町 8-16 TEL.076-441-2200

入場無料

多くの皆様のご参加をお待ちしています。



<プロフィール>

やましろ ひろじ
山城 博治 さん

1952年 9月生まれ (59歳)

2004年 4月、自治労沖縄県本部副委員長就任(県職労出身)。以来、沖縄平和運動センター事務局長、米軍基地の県内移設に反対する県民会議事務局長、全国基地問題ネットワーク事務局長等を兼任し、反戦・平和運動に奔走する。

1972年 5月 15日、沖縄は日本に復帰しました。

しかし、米軍はそのまま居座り続け、40年経った今も、在日米軍基地の75%が集中し、基地ゆえによる事件や事故はあとを絶ちません。

沖縄県民はこの間、米軍基地の縮小・撤去、日米地位協定の改定を求めて闘い続けてきました。普天間「県外」・辺野古新基地建設反対は、沖縄の総意となっています。

にもかかわらず、日米両政府は、普天間飛行場の滑走路等の大規模改修を8年間かけて行おうとしており、さらに高江ヘリパッド建設や与那国島への自衛隊配備などを強行しようとしています。

講師の山城さんは、こうした政府の対応を、沖縄に対する「差別」であり「ガッティンナラン（許せない）」として、からだを張って闘いの先頭に立っています。沖縄の心、沖縄の怒り、沖縄の闘いについて語っていただきます。

5. 23 富山県キャラバン行動／主催団体

県平和運動センター／憲法擁護富山県民連合／社民党県連合

【事務局】 富山市奥田新町8-1 Tel. 076-431-8756

[2012年5月23日]